

おごせ 議会だより



大威徳明王



金剛夜叉明王

3月定例会

- 平成29年度一般会計予算 … P2
- 特別会計予算・条例の改正 … P4
- 賛否表 ……………… P6
- 一般質問10名が登壇 …… P8

2017.6 No. 161

写真:五大尊不動明王

万円

一般会計 41億2800万円

【前年度比3.0%増】

賛成多数 可決

歳入

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	増減
自主財源	1,726,343	1,803,583	▲77,240
町税	1,335,888	1,313,633	22,255
繰越金	150,000	150,000	0
分担金及び負担金	107,476	210,612	▲103,136
使用料及び手数料	43,819	44,292	473
その他※1	89,160	85,046	4,114
依存財源	2,401,657	2,204,417	197,240
地方交付税	1,100,000	1,130,000	▲30,000
町債	423,000	192,000	231,000
国庫支出金	365,621	334,770	30,851
譲与税等※2	286,202	309,102	▲22,900
県支出金	226,834	238,545	▲11,711
合計	4,128,000	4,008,000	120,000

※1 その他は、財産収入及び寄付金、繰入金、諸収入の合計額です。

※2 譲与税等は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の合計額です。

歳出

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	増減
議会費	74,698	74,096	602
総務費	585,723	605,432	▲19,709
民生費	1,331,890	1,362,169	▲30,279
衛生費	339,703	341,738	▲2,035
労働費	10,140	10,140	0
農林水産業費	105,916	99,612	6,304
商工費	64,284	83,942	▲19,658
土木費	690,736	595,145	95,591
消防費	288,825	263,184	25,641
教育費	322,970	329,842	▲6,872
災害復旧費	8	8	0
公債費	260,091	237,675	22,416
諸支出金	48,016	17	47,999
予備費	5,000	5,000	0
合計	4,128,000	4,008,000	120,000

3月 定例会

平成29年第1回定例会は3月1日から17日までの会期で開催されました。町長から提出された案件は、平成29年度予算7件、平成28年度補正予算2件、条例の改正7件、工事請負契約の変更1件、道路線の認定・廃止2件で、慎重審議の結果、可決しました。また、一般質問では10名の議員が登壇し、町政に関する質問を行いました。

自由通路建設へ2億9800



越生駅東口開設事業
基本計画イメージ

反対します

無秩序な競争主義
の蔓延は許せない

神辺 光治

埼玉新聞の報じた共同通信の全国自治体調査によると県内の景況感は、1年前と比べて「上向き」15%、「下降」13%、「変わらない」（越生町も）66%。「下降」と「変わらない」で79%。県内自治体の8割が現状の経済状況に力強さを欠いている。これまで新井雄啓町長は予算査定ごとに「アベノミクス安倍内閣の経済政策の影響は、地方になり」と表明して来た通りだ。安倍内閣は盛んに「アベノミクス」で、景気が良くなったかの宣伝をしている、恩恵は大企業と一部の大金持ちだけで、一般国民は、長期の不況と国民所得は向上せず、格差と貧困が拡大し、先の見えな

い生活が続いている。
自・公政治の新自由主義、自己責任の追求、無秩序な競争主義の蔓延は許せない。

賛成します

町の発展と町民福祉の向上が
図られるよう期待する

宮崎 正人

国内の経済は、緩やかな回復基調が見られるとはいえず、町の財政は依然として厳しい。今後、自主財源の確保がますます厳しくなると思われる。歳入については、前年度に対し3%の増額となっているが、基金からの繰入金を最小限に止めるなど適切な対処がされており、「努力のあと」がうかがえる。歳出についても、総務費では地域交通対策事業を新規に計上。土木費では越生駅東口の開設に向け工事費の負担金を計上。教育分野では、子ども大学・越生に関する予算が計上され、子どもたちの夢の実現に向けた取り組みが注目される。よって、29年度予算は、厳しい財政事情の中にあっても、町民の期待にこたえるための配慮が随所にみられる。町の発展と町民福祉の向上が図られるよう期待を込め、賛成討論とする。

賛成します

東口開設は人口拠点防衛の要

水沢 努

人口がピークだった平成14年の1万4100人から15年目の本年、全町の人口は1万1900人に減少。2200名、行政区5個分の人口が消滅しました。3年前に日本創生会議が発表した「消滅可能性都市」、埼玉県では17自治体、越生町もその中に含まれます。潮の満ち引きにたとえれば、バブル経済はいわば満潮、バブル崩壊後の人口減少、少子高齢化の時代は一気に潮が引いている状態です。しかし引き潮でも浜辺には潮溜まりができます。これこそが人口減少時代における地方の人口拠点です。この15年間、全町の大幅人口減少とは対照的に、駅東地域（西和田、越生東1区、2区、上野東）合計で400名以上の人口が増えています。東口開設は、越生町消滅阻止に向けた、人口拠点防衛の重要な施策となります。

平成29年度特別会計予算

越生町国民健康保険特別会計予算

総額を18億8000万円とする。(前年比1600万円の減額)

賛成多数 可決

越生町毛呂山町外4組合公平委員会特別会計予算

総額を32万6千円とする。(前年比1万円の増額)

賛成全員 可決

越生町農業集落排水事業特別会計予算

総額を2446万7千円とする。(前年比114万7千円の減額)

賛成全員 可決

越生町介護保険事業特別会計予算

総額を10億4319万3千円とする。(前年比2551万5千円の増額)

賛成多数 可決

越生町後期高齢者医療特別会計予算

総額を1億2953万円とする。(前年比518万円の増額)

賛成多数 可決

越生町水道事業会計予算

収益的収入及び支出では、水道事業収益3億1517万5千円に対して、水道事業費用が3億782万8千円となる。

資本的収入及び支出について

は、資本的収入40万円、資本的支出1億835万8千円で、不足額の1億795万8千円は過年度損益勘定留保資金で補てんする。

賛成多数 可決



地域包括支援センターの業務が、社会福祉法人越生町社会福祉協議会に委託されました。



保健センター向かいの社会福祉協議会

会計別予算一覧

(単位：千円)

会計別	平成29年度	平成28年度	増減
一般会計	4,128,000	4,008,000	120,000
特別会計	3,077,516	3,063,958	13,558
公平委員会	326	316	10
農業集落排水事業	24,467	25,614	△1,147
国民健康保険	1,880,000	1,896,000	△16,000
介護保険事業	1,043,193	1,017,678	25,515
後期高齢者医療	129,530	124,350	5,180
水道事業会計			
収益的収入	315,175	332,145	△16,970
収益的支出	307,828	322,826	△14,998
資本的収入	400	300	100
資本的支出	108,358	102,137	6,221

平成28年度 一般会計補正予算

既定の予算に3562万4千円を減額し、総額41億6430万7千円とする。
補正の主なものは次のとおりです。

歳入

国庫支出金 1534万5千円
県支出金 △275万4千円
繰入金 △524万4千円
諸収入 365万3千円

歳出

総務費 △56万6千円
越生駅東口開設事業、臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業、町道2-34号線道路改築事業（大谷）など。
民生費 △3095万6千円
自立支援医療費等事業など。
衛生費 △760万3千円
予防接種事業など。
農林水産業費 3300万円

越生自然休養村センターふれあい魅力アップ整備事業
商工費 △50万円
職員給与費など。

土木費 △4356万5千円
広域静苑組合への坂戸市加入に伴う施設整備など。
諸支出金 1528万8千円
公共施設整備基金費への積立てなど。
賛成全員 可決

平成28年度 特別会計補正予算

越生町後期高齢者医療特別会計補正予算
既定の予算に48万3千円を追加し、総額を1億2483万3千円とする。
賛成全員 可決

繰越明許費

総合行政システム整備事業 94万2千円
越生駅東口開設事業 1953万2千円

臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業 3801万5千円

越生自然休養村センターふれあい魅力アップ整備事業 3300万円
梅林周辺道路整備事業 2545万円
町道3-598号線道路改築事業（大谷） 146万円

町道2-34号線道路改築事業（大谷） 6612万6千円

以上が平成29年度に繰り越され、事業実施されます。

繰越明許費

歳出予算の一部で、その性質上、または、予算成立後の事由により、年度内にその支出が終わらない見込みがあるものについて、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用することが認められています。
これを「繰越明許費」といいます

条例の改正等

越生町職員定数条例の改正
賛成多数 可決

変更前の工期
議会議決の日から
平成29年3月15日まで
変更後の工期
議会議決の日から
平成29年6月30日まで
賛成全員 可決

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正
賛成全員 可決

職員の育児休暇等に関する条例の改正
賛成全員 可決

越生町税条例等の改正
賛成多数 可決

在宅重度心身障害者手当支給条例の改正
賛成多数 可決

越生町観光センター条例の改正
賛成全員 可決

越生町道路線の認定
西和田地区内3路線・大谷地区内1路線を認定する。
賛成全員 可決

越生町道路線の廃止
西和田地区1路線を廃止する。
賛成全員 可決

工事請負契約の変更契約の締結
賛成全員 可決



西和田地区内道路線の視察風景

3月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、議は議長

議案 番号	件名	議 員 氏 名										審議 結果	
		宮 崎 正 人	岡 部 安 雄	池 田 か つ 子	金 子 公 司	水 沢 努	木 村 正 美	宮 島 サ イ 子	浅 野 訓 正	神 辺 光 治	宮 崎 さ よ 子		新 井 康 之
1	越生町職員定数条例の一部を改正する条例	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
2	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
3	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
4	越生町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
5	在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
6	越生町観光センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
7	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
8	工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	越生町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	越生町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	平成28年度越生町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
12	平成28年度越生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
13	平成29年度越生町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
14	平成29年度越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
15	平成29年度越生町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
16	平成29年度越生町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
17	平成29年度越生町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
18	平成29年度越生町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決
19	平成29年度越生町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	可決



企業誘致活動を学ぶ

ときがわ町議会と議員合同研修

1月13日(金)、越生町役場庁舎でときがわ町議会と合同議員研修会を開催し、越生町議会議員全員が参加しました。講師は埼玉県産業労働部企業立地課企業誘致担当主幹(現・副課長)西村健一氏で、「チャンスメーカー埼玉戦略IV〜T1000〜」をテーマに講演が行われました。

平成17年1月以降平成28年9月末までの11年9カ月間で884件の立地実績がありました。立地による効果として、新規雇用者は約2万8400人、投資総額は約1兆2997億円でありましたが、平成27年以降、立地件数が減ってきています。用地の不足によるものであり、今後、圏央道沿線に加えて圏央道以北にも企業誘致を進めていくとのことでした。

越生・ときがわ地区は取水制限がなく、地盤も強固であり優位性があるとの評価もあることから、最寄りのインターチェンジまでのアクセス道路がしっかりと整備されれば、ポテンシャルは高いとのこと。埼玉県は首都圏の巨大マーケットの中に立地し、東京と比較して割安な地価で総合的なコストダウンが図れること、台風や地震などの災害が少なく、恵まれた自然環境にあるなど、立地の優位性を強調していました。

また、企業誘致の優遇制度として埼玉県では不動産取得税相当額を補助する産業立地促進補助金があり、県下の40市町村でも、固定資産税や都市計画税相当額の補助や水道加入分担金の一部補助などの優遇措置を実施しているとのこと。最後に、質疑で「県が越生町に(さくらの郷)建設計画で取得した土地を工業団地にできないか」との質問に対して、「例えば県企業局に開発をお願いするのであれば、採算が取れれば、そうした事業も考えられるのではないか」との答えでした。

川のまるごと再生
お披露目会に出席
3月19日(日)、越辺川 川のまるごと再生プロジェクトお披露目会が、越生町いこいの広場で開催されました。
この事業は、県が「清流の復活」と「安らぎとにぎわいの空間創出」を二本柱として、川の再生に取り組みむもので、越辺川では越生町から毛呂山町にかけて事業延長14・5km、事業期間は平成25年4月〜平成29年3月でした。
整備計画のテーマは、越生町は「景観に優れた川辺や四季折々の観光資源を活用するため、町の中心を流れる越辺川に遊歩道を整備し、見る、遊ぶ、親しむなど憩いの場を創出」毛呂山町は「越辺川沿いに点在する歴史的資源や湖等の親水空間を有効に活用するため、それらを遊歩道で繋ぎ、観光・レクリエーション機能の充実」です。
当日は主催者の飯能県土整備事務所長、越生毛呂山町町長、越生毛呂山町議会議員始め関係の皆さん、多くの住民の方が見守る中、毛呂山町西



研修会の様子



お披露目会

町政を問う！

☆全質問事項は下記のとおりです☆

◆質問議員と質問事項◆

1 宮崎 正人 議員

- ① 都市公園の管理について

2 水沢 努 議員

- ① 地域包括ケアシステムの現状は。また展望はあるか。

3 金子 公司 議員

- ① 越生駅東口開設事業と長期総合計画を上回るスピードの高齢化について
- ② 民間資金とノウハウの活用について
- ③ 旧上野東駐車場の公売状況について
- ④ 県道川越・越生線武州唐沢駅付近に取得した土地について
- ⑤ 越生駅前トイレについて

4 浅野 訓正 議員

- ① 月例ハイキングの成果は
- ② 現代人のスポーツ施設の利用
- ③ 越生スポーツ少年団について

5 岡部 安雄 議員

- ① (株)越生特産物加工研究所の信頼の確保について

6 宮崎さよ子 議員

- ① 水道施設の更新及び水道料金について

7 木村 正美 議員

- ① 越生町の将来像はどうなっていくのか
- ② 2学期制と学校給食費の公会計化の考えは

8 宮島サイ子 議員

- ① コミュニティ・スクールの導入を
- ② 安定的な水の供給を確保するために

9 池田かつ子 議員

- ① 越生町の学校教育について
- ② 梅まつりと観光協会及び町の連携について

10 神辺 光治 議員

- ① 越生町小・中学校給食費の無償化をめざして
- ② 職員の労働条件の改善と確認について



記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し執筆した原稿をそのまま掲載しています（別掲の議員名を付した文章も、全て同様の扱いです）。

全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット（越生町ホームページ内「会議録検索システム」）で閲覧することができます。

一口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で、一人当たりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

町内における都市公園の管理運営について

宮崎 正人



問 越生町に都市公園はいくつあるのか。

答 越生町の都市公園は14箇所、種別としては街区公園が10箇所、近隣公園が2箇所、特殊公園が2箇所。

街区公園には、稲荷・神明・五領・川原田・久保・高木原・新宿・黒岩・大谷・金

毘羅山児童公園が該当し、近隣公園には、さくらの山公園、五大尊花木公園が該当。特殊公園には山吹の里歴史公園、大谷ケ原万葉公園が該当する。

問 都市公園を管理する公園台帳の整備は。

答 都市公園法施行規則第10条第1項から第4項の

規定に基づき、「越生町都市公園台帳」を整備している。

問 越生東、上野東など区画整理完成後、公園内の高木などの管理は。

答 30年以上が経過し、近隣の住民などから日照不足や落葉による苦情等あった場合には、伐採や剪定等を行い対処する。高木の定期的な剪定は費用も高額になることから実施できていないのが現状。

つているのか。

答 定期的な公園の巡回時に破損状況などを確認し、簡単な修繕は実施。

問 公園は子どもたちだけでなく様々な世代が利用できるもの（健康遊具等）を設置し、健康づくりに適した公園に対応させたらどうか。

答 今後、高齢者の利用も増えると思われるので健康づくりに配慮した公園整備を検討したい。



大谷ケ原万葉公園

町は地域包括ケアシステムづくりのリーダーシップを

水沢 努



問 町の「地域包括ケアシステム」の進捗状況は。

答 ①在宅医療・介護連携推進事業では、国が示す8事業全て今年度中に実施。うち3事業を丸木記念福祉メデイカルセンターに設置された「毛呂山越生在宅医療相談室」へ委託して、より効率的

に実施する予定。②認知症施策の推進では、平成29年3月1日に認知症初期集中支援チームを設置。認知症地域支援推進員による「物忘れ相談会」を開催する予定。③生活支援体制整備事業では、平成29年度に、生活支援・介護予防の体制整備における協議体の

設置、生活支援コーディネーターの配置を予定している。④地域ケア会議を平成27年4月から開催し、管理栄養士や理学療法士、管理薬剤師など多職種協働によるケアマネジメント支援を実施している。また公募による事業者の参入促進を検討している。

問 このシステムは自助の領域が拡大するのでは。

答 はい。今後の地域包括ケアシステムにおいて、高齢者は単なるサービスの受け手、利用者ではなく、自ら

助・互助の果たす役割が大きくなると考えられる。

認知症を有する高齢者人口の推移



越生駅東口開設事業について 民間資本とノウハウの活用を

金子 公司



問 越生駅東口開設事業について

答 町民の長年の悲願である。鉄道事業者と度重なる交渉を続け、平成29年度に本格的工事着手することになる。事業が実現することで駅周辺の活性化、町の顔ともいえる駅の形が整えられると期待している。

問 費用及び財源について

答 約9億円。国庫補助金（最大で3億2千万円）と起債2億3千8百万円及び基金からの繰り入れ金を見込む。国庫補助金は、要望通りの額が交付されないケースも

多い。

問 事業費負担について

答 越生町から鉄道事業者（東武・JR）への請願による整備事業で、原則すべてが負担することになる。鉄道事業者からの支援金は難しい。請願については越生町が平成28年1月に各鉄道事業者に提出した。

問 社会状況が大きく変化するなかで事業内容を示し、住民アンケート等は考えているのか。

答 アンケート調査等について予定していないが、広報やホームページにおいて、越生駅東口開設事業の計画の概要や概算の総事業費などを公表する。

問 民間の資金や優れたサービス、ノウハウを活用し設計から運営までを一体で委ねることにより整備費用の軽減を図るもので、思い切った民間に任せる手法（PFI）で駅東口広場等の活用と東口開設はできないか。

答 当初から鉄道事業者の方針で、町との協定や契約に基づき、負担金や受託工事による施工方法以外は対応しない。



越生駅東口

月例ハイキングの成果は ゆうパーク内の施設利用を

浅野 訓正



問 「ハイキングのまち宣言」の後、9月から毎月第2週の土曜日、月例ハイキング大会がスタートした。今回、東武鉄道との共催の「武蔵おごせハイキング大会」もなくなり、来年より「新春おごせ七福神ハイキング巡り」もなくなると聞く。①多くの

ハイカー、観光客を呼び込むうとしている中、東武鉄道との共催は、宣伝効果も大きく集客力もある。撤退する理由は。対抗する勝算は。②月例ハイキング大会の参加者数は。③スタートがポケットパークで、ゴールは任意解散だ。ハイキング客に対する経済効果は。

①東武鉄道の組織改革で、組織が分社化され、ハイキング経費も圧縮、縮減で中止。町としては、「ハイキングのまち宣言」とリンクさせ、「月例ハイキング大会」と毎月いつでも歩けるハイキングコースで開始した。②参加総数9月は224人、10月は337人、11月は325人、12月は283人、1月は287人、2月は341人。③数字は把握していないが、ハイキング客が来れば多少なりとも経済効果はある。

近隣町においてはスポーツジム等があり、当町よりの利用者が多いと聞く。越生町にも「ゆうパーク」にスポーツジムがある。他の施設より高額で、会員制で、あまり利用が見えない。もともと町民の福祉と健康のための施設。高い使用料金で利用されないより、低料金で多くの町民が利用できるようにすべき。

答 指定管理者制度で運営。会員が利用していない時間帯での使用については、受



月例ハイキングの出発点ポケットパーク

付、安全確保のための職員の配置などの課題あり、指定管理者と協議して行く。他にスポーツ少年団の課題を問いました。

（株）越生特産物加工研究所の信頼の確保について

岡部 安雄



問 （株）越生特産物加工研究所が昨年10月に新体制で出直したが、信頼の確保にどのように取り組んでいるのか。

答 昨年の11月から、人員整理を含む経費削減に努めるとともに、総務経理、営業、製造の3つの機能を明確にするため、新たな組織体制

を立ち上げた。常務取締役を現場の責任者として3課長が中心となり、信頼と売り上げの回復に向け、鋭意努力している。

問 会社設立の目的と現状について伺う。
答 株式会社越生特産物加工研究所の設立目的は、会社の設立趣意書に記載され

ているとおり、「選果もれの梅・ユズをより多く購入するには製造設備の充実や販路の拡大が必要であり、第3セクターによる会社を設立する」というもので、その趣旨に根ざした運営がなされてきたと考えている。

問 仕入れ商品を販売するのは、6次産業化とは言葉えないのではないか。
答 株式会社越生特産物加工研究所では、越生町の農家から特産の梅・ユズを買い取り、商品に加工し、流通

販売を行うなど、地域ぐるみの6次産業化として、町の農業振興に貢献してきた。商品ラインナップには、自社製造商品、製造委託商品、仕入商品の3種類がある。仕入商品は全体の2割程度であり、販路拡大のために一定の商品ラインナップを揃えて、ニーズに応えることも経営上必要である。

問 監査役による業務監査の実施方針を伺う。
答 監査役による監査は、会計に関わる売掛金、買

掛金のほか、仕入れ量や社員勤務状況など業務監査を含んだ内容で実施されている。今後も同様の監査体制を継承する。



越生特産物加工研究所

施設更新計画の策定を早急に

宮崎 ちよ子



問 水道料金の値上げから2年が経過する。料金改定の際に①膜ろ過施設の更新について実験を行っているという話でしたが、その実験の中身と結果は。②平成29年度と30年度に膜の更新は行うのか。③浄水設備を減らしたいという話は、どう進んでいる

答 ①原水を直接膜ろ過施設で処理しても膜の性能が正常に機能するか試験した結果は機能的に十分対応できる。②大規模更新はせず破断した膜を順次交換する。③急速ろ過施設を廃止し膜ろ過施設のみで処理する浄水方法の

か。
問 変更について、検討を継続している。施設更新計画のなかで方向性を決定していく。

答 施設更新計画はいつ頃策定する予定か。資金計画を含めたものか。
問 平成29年度と30年度にアセットマネジメントを実施した上で策定。更新計画を策定した後、『経営戦略』の策定に取り組む。
答 平成28年度の純利益見込みは、1725万6533円を見込んでいる。

問 繰越赤字が平成27年度末約9663万円。赤字を消すには2千万円の利益で約5年かかる。料金改定で何か終わったような感覚があるようだが、今後の収益を考えると危険な状況では。本当は、これから重要な時期では。

答 給水収益は給水人口の減少に比例して減少し水道事業の経営状況は、さらに厳しさを増していく。更新計画策定の際には将来的な料金改定も視野に入れた財源計画の策定も当然必要。今後は、

利用者の皆様に分かりやすい情報を提供しながら健全な事業運営に努める。

減らしたいという話、どう進んでいるのか。

減らしたいという話、どう進んでいるのか。



越生町浄水場膜ろ過施設

教職員勤務時間の調査を実施 超過勤務の実態は

池田 かつ子



問 教職員の1か月の平均勤務時間を小学校、中学校別にお聞きする。

答 小学校の勤務時間の最も多い勤務年数は1年から5年目で197・2時間、中学校でも1年から5年目までの193・4時間である。

問 この実態調査結果に対し管理職の見解は。

答 現場で働いている先生方への勤務時間を超えるの件については兼ねてから課題だと考えている。勤務時間については極力把握し、県のふれあいデー、町のリフレックスデーを推奨して速やかに

退勤できる日を設定している。

問 指導要領改訂に伴い3学期制に移行はあるか。

答 今後も2学期制を継続していく予定である。

問 そうすると、指導要領改訂の30年度、県内で小・中学校ともに2学期制を実施するのは越生町、熊谷市の2自治体である。近隣も3学期制を実施する中、2学期制の検証は。

答 授業時間確保、行事の準備時間確保もできていることを検証した。現在の越

生町の児童・生徒は学力・体力ともに大変良い状態にある。

問 長期休業前に通知票がないことが、課題であったが、各小・中学校が独自に夏休み前に成績表を作成し配布した。

答 法人化した観光協会への今後の方向性は。

問 安定した運営になるには慣れも必要で、少し時間を要する。将来的には人的補強も考慮した上で、オーテックなどの指定管理も検討していく。町としては、行政では難しい有料のイベント開

催やお土産品の開発にも取り組めるように支援していく。



大運動会

学校給食無償化は難しいが 何らかの補助を検討する

神辺 光治



問 越生町小・中学校給食の無償化をめざして、しんぶん赤旗の「なくそう格差と貧困」と朝日新聞「子どもと貧困」で全国的な学校給食の無償化は、55自治体で実施。その後、赤旗では62自治体に増え、一部補助も多子世帯（3人以上の子ども）は半額、

3分の1や消費税増税分（5%↓8%の3%分）補助など、昨年1999自治体（朝日）の一部補助が赤旗では、今年417自治体に増えたと報じた。朝日は「子ども医療費無料化と同じ、将来の心身の健康に直結する……は、社会保障だ」。憲法は「義務教育は無償」を

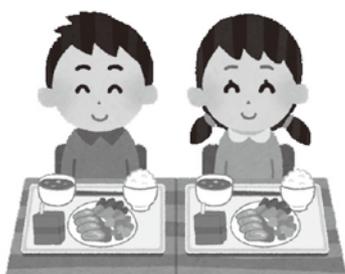
うたっている。

問 給食費を無償にする自治体が増えていることは、新聞報道等で把握している。国・県の補助のない給食費を無償にするのは難しい。今後は、教育と子育てのまちにふさわしい何らかの補助も必要と考える。多子世帯への支援の可能性も含め検討する。

答 職員の労働条件の改善と確認について、町長は職員の有給休暇の取得に関して、県内で最低水準でよく働いていると評した。自慢できる話

ではない。観光のまち・ハイキングのまちの導入で休日出勤等仕事量が増えている。職員に事故がなければよいが、有給休暇の取得と消化率は年々少なくなっている。27年は3日と少ない。

問 休日出勤の最大は44日、最も少ない職員は0日、有給休暇取得日数は最大27日、最小は0日、有給休暇取得率最高40日までで、平均消化率は平成23年18%、24年20%、25年14%、26年12%、27年8%となっている。



「顔の見えるまちおごせ」第18回 第二の故郷のため ひもかわでまちおごし

毎年1月から3月まで、小杉地区にある自然休養村センターで「ひもかわうどん」を作り、観光客へのおもてなしを行う茜の会。代表の吉澤和江さんに聞きました。

「越生の伝統的食文化を守りたい」

★茜の会といえば「ひもかわ」ですね

でも私、この会に入るまで一度もひもかわを作ったことなかったんです。会の先代に打ち方から味付けまで教えて頂きました。ひもかわによる



茜の会のみなさん

観光客のおもてなしは、約3年前に始まったそうです。私がこの活動に参加したのは17年前。当時、会の名は「花子会」でしたが、その後、「茜の会」に変わり、小杉地区14名の主婦で活動しています。

★まったく新米からの出発だったとは

最初は大変でしたよ。煮込んだら麺が切れて、「とてもお客さんには出せない」と作りなおしてお出しすることもありました。体じゅう筋肉痛になったことも。でも、お客さんが、おいしそうな笑顔で食べているのを見ると、こちらも嬉しい気持ちになります。中には「一年中やってくれ」というお客さんも。嬉しいですが、さすがにそれはムリ(笑)。

★活動は地域の「コミュニティづくりにもなりますね

茜の会代表 吉澤 和江さん



地域のみんなと一緒に作業をするのは、とても楽しい時間です。私も含め、会員の半分くらいは、越生に嫁いだ女性。でも、みんな移り住んだこの町のまちおごしに役立てばと、楽しみながらがんばっています。この活動は地域の大切なコミュニケーションの場です。今では、越生が故郷(ふるさと)ですよ。

★「ひもかわ」への思いは

最初は軽い気持ちで始めたのですが、今では越生の伝統的な食文化を守りたいという気持ちですね。かつては多くの家庭でひもかわを作っていました。今では少なくなっていますが、失われゆく食文化を絶やさない活動を続けていきたいです。

表紙をカラーに しました

いつも本誌をご覧いただき、誠にありがとうございます。あなたがとうございませ。あなたと議会をむすぶ「おごせ議会だより」を、より親しんでいただけますように本号から表紙と裏表紙をカラーにしました。

今後は、文字を大きくして読みやすくすることや、内容の充実に検討を重ね、分かりやすく伝えられる誌面の刷新にも取り組む所存であります。議会が注目されること、この町の活性化の第一歩であると心得て、さらに頑張つてまいります。

(編集委員長 記)

3月定例会の傍聴者数

本会議	傍聴人数
3月 1日(水)	0
3月 2日(木)	1
3月 3日(金)	8
3月 6日(月)	23
3月 7日(火)	0
3月 17日(金)	0
合計	32

編集後記

町長選挙が無投票当選により、新井雄啓町長による2期目がスタートしました。越生の地域活性化のため、さらなるリーダーシップに期待したい。

四季折々の花に囲まれた越生町は、うめ・さくら・つつじ・やまぶぎと進み、深緑の季節となりました。

年4回発行の議会だよりを通じ、町民のみなさまに出来るだけわかりやすく町政を伝え、町活性化のため、議員一同身を引き締め努力してまいります。

(浅野訓正 記)

委員長	木村 正美
委員	水沢 努
	浅野 訓正
	宮崎 さよ子
	宮島 サイ子
	金子 公司
	池田 かつ子
	岡部 安雄
	宮崎 正人
アドバイザー	新井 康之